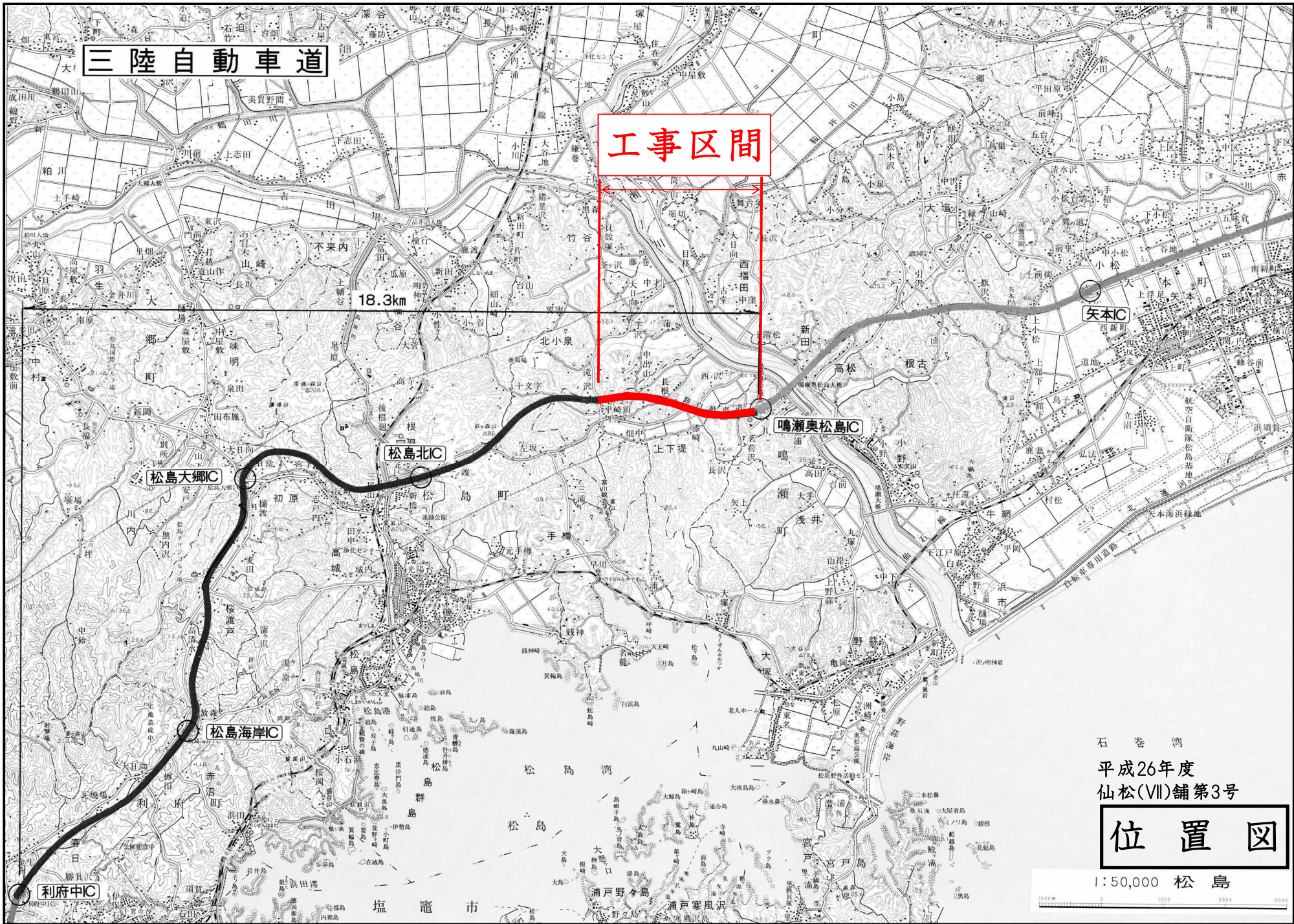


宮城県道路公社																		
部		次		次		課		副		副		技		係		設		
長		長		長		長		参		参		術		長		計		
								事		事		補				者		
												佐						
工 事 仕 様 書																		
事 業 年 度		平成26年度				工 事 番 号		仙松(Ⅶ)舗第3号										
工 事 名		仙台松島(Ⅶ)舗装(3工区)工事 実 施 仕様書																
路 線 名		一般国道45号																
施 行 地 名		東松島市上下提～東松島市川下 地内																
工 期		平 成 26 年 月 日 から 平 成 27 年 3 月 31 日																
工 事 概 要																		
別紙のとおり																		

工 事 概 要			
施工延長 L=2,370m (No.190～No.308+10.0) 幅員 W = 23.5m (13.25m)			
舗装工事		防護柵工	
アスファルト舗装工		防護柵工	L = 2,682 m
下層路盤(再生クラッシャーランRC-40 t=320mm)	A = 19,940 m ²	構造物撤去工	— 式
上層路盤(再生合材瀝青安定処理 t=100mm)	A = 19,750 m ²	縁石工	
基 層 (再生粗粒度アスファルト混合物(20)t=50mm)	A = 19,490 m ²	アスカーブ	L = 1,710 m
排水性舗装工		道路付属施設工	
表 層 (ポーラスアスファルト混合物(13)t=50mm)	A = 18,780 m ²	眩光防止板	N = 500 枚
切削オーバーレイ工		安全施設工	
切削オーバーレイ(t=3～5cm)	A = 6,250 m ²	視線誘導標	N = 233 本
橋面舗装工		区画線工	
防水層(シート防水)	A = 3,710 m ²	ペイント式区画線	L = 6,640 m
基 層 (密粒度改質Ⅱ型(13) t=40mm)	A = 3,680 m ²	仮設工	— 式
表 層 (ポーラスアスファルト混合物(13)t=40mm)	A = 3,680 m ²		
排水構造物工			
ロードガッター	L = 1,778 m		



三陸自動車道

工事区間

18.3km

松島大郷IC

松島北IC

鳴瀬奥松島IC

矢本IC

松島海岸IC

利府中IC

石巻湾
平成26年度
仙松(VII)舗第3号

位置図

1:50,000 松島

- 特記仕様書 -

施工条件明示書

工事番号	平成26年度 仙松(Ⅶ)舗装第3号	工事名	仙台松島(Ⅶ)舗装(3工区)工事	事務所名	宮城県道路公社			
項 目		条 件	内 容	施 工 方 法	備 考			
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。						
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置								
(1) 現場施工に着手する日の指定		○ある	平成 年 月 日 又は 契約日から○○日以内					
		●ない	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1－1－8)					
			上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。「建設工事等の入札・契約制度の運用について」(平成21年8月31日付け出契第410号)					
3 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整		○ある	●ない	既発注道路改良工事及び橋梁上部工事並びに隣接舗装・電気工事との調整	監督職員と協議を行い施工すること			
(2) 施工時期による制限		○ある	●ない	官公庁の休日については、作業を行わないものとする。但し、上記に工事を行う必要が生じた場合は協議事項とする	監督職員と協議を行い施工すること			
(3) 関係機関等との協議の未成立		○ある	●ない	警察及び道路管理者	監督職員と協議を行い施工すること			
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加		○ある	●ない	上記機関との協議の結果による	監督職員と協議を行い施工すること			
4 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限		○ある	●ない	各関係法令、条例による	設計図書に基づき施工すること			
5 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定		○ある	●ない	警察協議の回答及び保安施設設置計画書による				
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限		○ある	●ない	下り車線の施工位置について、既存電気施設の撤去及び法面部に光ケーブル埋設物設置工事があり調整が必要となる。	監督職員と協議を行い施工すること			
6 排水工関係								
(1) 湧水、湧水処理のための特別な対策の必要性		○ある	●ない					
7 建設副産物対策関係								
(1) 共通事項		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。						
(2) 建設発生土情報交換システム登録対象工事		○ある	●ない	土量、土質、土工期等に変更が生じた都度、当該システムのデータ更新を行うこと。 (搬出量で1,000m3以上、搬入量で500m3以上)				
建設土	処理・処分			処理・処分する場所	処理・処分方法			
		○ある	●ない					
(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	○ある	●ない	重吉興業(株)	中間処理	10.0 km	8 時 30 分 ～ 17 時 00 分
			工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。					
		アスファルト塊	○ある	●ない	重吉興業(株)	中間処理	15.0 km	8 時 30 分 ～ 17 時 00 分
		建設発生木材	○ある	●ない			km	時 分 ～ 時 分
		建設汚泥	○ある	●ない	ジャイワット(株)仙台エコランド	中間処理	28.0 km	8 時 30 分 ～ 17 時 00 分
		その他	○ある	●ない			km	時 分 ～ 時 分
(4) 再生材の利用		○ある	●ない	種類・数量	再生砕石(RC-40) 8,105m3 再生粗粒度As 2,450t 再生As安定処理 4,966t 再生細粒度As 78t			
8 工事現場のイメージアップ		○ある	●ない	内容	イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。			
9 品質証明								
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認 チェックリストの対象		○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。				
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象		○ある	●ない					
10 標準的な設計図書による発注方式		○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第3編1－1－14によること。				
11 資材関係								
(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。						
(2) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。		必須	1.暗渠排水管、植生基盤材等、及び視線誘導標は、宮城県グリーン製品を用いること。					
		○ある	●ない	2. 盛土材、埋め戻し材				
		○ある	●ない	3. その他()				
		○ある	●ない	4. その他()				
(3) 現場吹付法砕工								
12 その他								
(1) 舗装の下請制限について		○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第1編1－1－3によること。				
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無		○ある	●ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。				
(3) 三者会議の対象の有無		○ある	●ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1－1－5によること。				
(4) 貸与資料の有無		○ある	●ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(道路設計業務委託成果品、道路改良工事及び橋梁上部工工事等の成果)				
(5) 工事写真の電子化の対象の有無		○ある	●ない	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報基準(案)に基づき電子とすること。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認めることとする。				
(6) 工事実績情報システム(コリンズ)登録		請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。						

特記事項

項 目	内 容	施 工 方 法	備 考
13 住民への配慮について			
(1) 工事区間における対応	・工事施工箇所は供用区間に隣接している。工事車両の出入りについては、一般車両との接触等事故を防止すること。	保安施設設置計画書を立案し、監督職員の承諾を得て、看板等を設置すること。	
(2) 住民への配慮	・工事実施に先立ち、関係住民への事前説明(チラシ等の配布)の周知徹底すること。	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生の防止を図ること。	
14 安全管理の徹底			
(1) 安全協議会の設置	・工事請負者は「仙台松島道路Ⅵ・Ⅶ期期事業災害防止連絡協議会」に入会し、工事の円滑な運営及び労働災害の防止に努める。		
(2) 交通安全管理について	・本工事に伴い、本線の車線切替が必要であり、走行形態が変更するため、交通安全確保に十分留意すること。	監督職員と協議の上施工すること。	
15 建設副産物の処理			
(1) 建設副産物処理の報告	・本工事で発生した建設副産物等の処理については、設計計上されていないものに関しても「建設廃棄物処理計画書」を作成すること。	建設廃棄物等を処理した場合は「建設廃棄物等処理結果報告書」、「マニフェスト」、「処理状況写真」を提出のこと	
(2) 建設副産物の取り扱いについて	・本工事において発生する建設副産物等の処理については、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進書を作成し施工計画書に含めなければならない。	共通仕様書1-1-5に基づき施工計画書に明記すること	
16 安全費について			
(1) 安全費(積上げ)の計上について	・本工事は7月～3月までの9ヶ月間(土・日・祝・祭日を除く)、2名/日の交通誘導員を計上している。交通誘導員は工事現場進入箇所として、町道部2箇所への配置を計画している。	保安施設設置計画書に交通誘導員の配置を明記すること。	
(2) 交通誘導員の適正配置について	・当該路線での交通誘導にあたっては、警備業法施行規則第38条による教育の履歴者、過去3年以内に建設業協会等が主催した建設工事の事故防止のための安全講習会の受講者等を配置するものとする	教育の実施状況、受講証の写し等確認できる資料を監督職員に提出すること	
17 施工条件について			
(1) 事前調査について	・事前に現況道路(町道)の調査を行い、工事用車両による路面上の著しい変化が発生しないか、定期的に監視を行うものとする。	監督職員と協議の上施工すること。	
(2) 契約書第18条に基づく協議について	・工事着手前後、速やかに契約書再18条に基づく事前調査、測量を実施し、設計図書の照査をおこない監督員へ協議(提出)すること。		
(3) 作業時間について	・作業可能時間としては、基本としてAM8:30～PM5:00(後片付け含む)間とする。 ・夜間作業時間としては、PM9:00～AM6:00(後片付け含む)とするが、時間帯については、関係機関と調整が必要のため、監督員と協議するものとする。	監督職員と協議の上施工すること	
(4) 夜間作業について	・本線の車線切替及び供用開始にあたり、夜間通行止めによる作業が必要となるため、隣接工区と交通規制の時期、方法等について調整すること。	監督職員と協議の上施工すること	
(5) 工事工程について	・施工にあたり、中央分離帯部施工に伴う本線切り廻し(段階施工)を行う必要があることから、参考とし段階施工図を添付しているが、現場状況、工事工程を確認し、施工計画を立案するものとする。 ・本線切り廻し時期を平成27年1月と2月頃に予定していることから、拡幅部(下り線)本線舗装について、平成26年12月末日まで完成させる事。なお、その後、中央分離帯の施工を行い、平成26年3月に全線供用開始を行う事。 ・上記工程については、他工区と調整を行うこと。	監督職員と協議の上施工すること。	
(6) 仮設防護柵(H鋼付Gr)について	・既発注工事により設置されているH鋼付ガードレールは、7月1日から本工事にて引き継ぐものとし、損料・整備料、移設、撤去費用等についても本工事にて計上している。 ・新たに設置するH鋼付ガードレールについても、同様に設計計上している。		
(7) 撤去・処分について	・ガードレール、ポストコーン、視線誘導標等の撤去品については、仮置場までの運搬費を計上しているが、現状を確認し再利用等が不可能であれば、協議のうえ処分を行うものとする。		
18 その他			
(1) 工事書類の簡素化の試行について	1) 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行工事である。 2) 「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿、材料確認書、確認・立会書、夜間・休日作業届の書類提出については、電子メール活用を基本とする。 3) これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。	監督職員と協議の上提出すること。	
(2) 現場代理人の配置について	1) この工事は、「東日本大震災に伴う復旧・復興工事等における現場代理人の常駐義務の緩和措置について」の該当工事である。		
(3) 契約終了後の提出物について	下記のとおりとする 1) 施工計画書 2) 保安施設設置計画書(警察協議)について、契約終了後速やかに提出を行うこと	監督職員と協議の上提出すること。	
(4) 共通仕様書、マニュアルについて	内容について必ず確認すること 1. 共通仕様書(土木工事編Ⅰ) 2. 共通仕様書(土木工事編Ⅱ(共通特記仕様書)) 3. 土木設計マニュアル	宮城県土木部事業管理課のホームページを確認し最新版にて管理を行うこと	

(5) 暴力団等の排除について	1 乙が、この契約の履行期間中に宮城県入札契約暴力団等排除要綱(平成20年11月1日施工。(以下、「排除要綱」と言う)。別表各号に該当すると認められたときは、契約を解除することができる。 2 乙は排除要綱別表各号に該当し、本県から指名停止措置を受けている者に、この契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請負受託をさせた者が、排除要項別表各号に該当すると認められたときは、当該下請契約等の解除を求めることができる。 3 乙は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者(以下、「暴力団員等」という)。から不当要求を受けたときは、速やかに警察への通報をおこない、捜査上必要な協力をおこなうとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。なお、暴力団員等から不当要求又は被害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行延滞等が発生する恐れがあると認められるときは、必要に応じて工程の調整、工期の延長等の措置を講ずる。		
(6) 成果品について	・印刷物の他、各種納品物を電子データとして電子媒体に納め、提出するものとする。	監督職員と協議の上提出すること。	
(7) 有料道路の料金について	・有料道路料金については、協議事項とし通行券により精算するものとする。		

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
舗装		式		1			
道路土工		式		1			
掘削工		式		1			
土砂掘削		m3		300			
盛土工		式		1			
路肩盛土		m3		280			
中分盛土		m3		170			
法面整形工		式		1			
法面整形(盛土部)		m2		730			
購入土工		式		1			
購入土		m3		150			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
法面工			式		1		
植生工			式		1		
植生シート			m2		730		
排水構造物工			式		1		
管渠工			式		1		
管渠(横断管) PK1-RC2-D400			m		3.5		
管渠(縦断管) PK1-RC2-D700			m		1		
集水枡工			式		1		
路肩集水枡 SM-B800-L600-H520	現場打材 コンクリート 18-8-40-60%		箇所		32		
中分集水枡 SM-B800-L800--H520	現場打材 コンクリート 18-8-40-60%		箇所		12		
中分集水枡 SM-B800-L800--H650	現場打材 コンクリート 18-8-40-60%		箇所		5		

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
中分集水桝 SM-B800-L800-H1180	現場打材 コンクリート 18-8-40-60%	箇所		3			
ロードガッター		式		1			
ロードガッター500型		m		1,778			
構造物撤去工		式		1			
防護柵撤去		式		1			
防護柵撤去(ガードレール)	処分（仮置）含む	m		1,199			
付属物撤去		式		1			
標識撤去	処分費含む	基		2			
ポストコーン撤去	処分（仮置）含む 夜間	本		220			
簡易中分ブロック撤去	処分費含む 夜間	個		110			
ボックスビーム撤去	処分費含む	m		160			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
デリネーター撤去	処分（仮置）含む	本		15			
舗装版取壊工		式		1			
アスファルト舗装取壊・処分	t=20cm	m2		356			
舗装版切断工		式		1			
アスファルト舗装切断		m		1,780			
舗装工		式		1			
排水性舗装工		式		1			
下層路盤	路盤材種類:再生クラッシュラン RC-40, 平均厚:320mm	m2		19,940			
上層路盤	路盤材種類:再生合材瀝青安定処理(30), 仕上り厚:100mm	m2		19,750			
基層	材料種類:再生粗粒度アスファルト混合物(20), 舗装厚:50mm	m2		19,490			
表層	材料種類:ポーラスアスファルト混合物(13), 舗装厚:50mm	m2		18,780			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
切削オーバーレイ工		式		1			
切削オーバーレイ（土工部）	t=5cm	m2		1,510			
切削オーバーレイ（簡易中分部）	t=3cm（夜間）	m2		4,740			
橋面舗装工		式		1			
防水層	防水工種類：シート防水	m2		3,710			
基層	材料種類：改質As密粒Ⅱ型(13) 舗装厚さ：t=40mm	m2		3,680			
表層	材料種類：ポ ーラスアスファルト混合物(13) 舗装厚さ：t=40mm	m2		3,680			
縁石工		式		1			
縁石工		式		1			
アスカブ*	材料種類：再生細粒度アスファルト混合物(13)	m		1,710			
防護工		式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
路側防護柵工		式		1			
ガードレール	ガードレール規格(土中):メッキ Gr-A-4E,ヒーム補強金具の有無:無	m		752			
ガードレール	ガードレール規格(中央分離帯用):メッキ Gr-Am-4E,ヒーム補強金具の有無:無	m		1,930			
道路付属施設工		式		1			
道路付属物		式		1			
コンクリートシール	路肩部	m		979			
コンクリートシール	中央分離帯部	m		1,778			
眩光防止板	650×350	枚		500			
安全施設工		式		1			
安全施設		式		1			
視線誘導標	土中用（白）	本		41			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
視線誘導標	路肩Gr取付用（白）	本		18			
視線誘導標	中分Gr取付用（橙）	本		134			
視線誘導標	構造物用（白）	本		20			
視線誘導標	構造物用（橙）	本		20			
区画線工		式		1			
区画線工		式		1			
ペイント式区画線	規格・仕様区分:溶剤型 破線 加熱式 15cm	m		950			
ペイント式区画線（夜間）	規格・仕様区分:溶剤型 破線 加熱式 15cm	m		950			
ペイント式区画線	規格・仕様区分:溶剤型 実線 加熱式 20cm	m		4,740			
区画線消去		式		1			
ペイント式区画線（夜間）	ウォータージェット式	m		155			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
仮設工		式		1			
防護施設工		式		1			
H型仮設ガードレール工	設置	m		1,330			
H型仮設ガードレール工	撤去	m		1,995			
H型仮設ガードレール工	賃料・整備費	m		1,995			
仮設防護柵工（設置・撤去）	目隠しフェンス	m		1,995			
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
建設機械運搬費	夜間・昼間	式		1			

工事数量総括表(本01)

工事名	平成26年度 仙台松島（Ⅶ）舗装（3工区）工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
仮設材運搬費 （搬入）		式		1			
仮設材運搬費 （搬出）		式		1			
安全費		式		1			
交通誘導員		式		1			
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税額及び地方消費税額		式		1			

工事数量総括表(本01)

[illegible]